

おくりもの

羽ノ浦さくら保育所、羽ノ浦小学校、羽ノ浦中学校へ
 ●図書15万円分
 春日野ボランティア会様から保育所および学校図書充実のため
 ご寄贈いただきました。ありがとうございます。うございませう。

臨時的任用職員を募集

ごみ収集作業

9月中旬から環境管理事務所、臨時に勤務する職員
 応募資格 平成13年9月1日以前に生まれた方

採用予定人員 10人程度

賃金 月額9500円

勤務時間 原則として月曜日～金曜日の午前7時30分～午後4時15分

申込方法 履歴書(市販のもの)に自筆、写真貼付)を人事課へ提出してください。試験案内は、申込期間中に人事課で配布します。

申込期間 8月22日(木)までの

午前8時30分～午後5時15分
 試験内容 面接試験および体力テストを実施します。

試験日 8月28日(水)

問い合わせは 人事課(☎22-11112)へ

学校給食調理

令和元年度に学校給食センターで、臨時に勤務する短時間勤務調理員(週5日、1日4時間勤務)

採用予定人員 業務の必要に応じて採用します。

賃金 月額3650円

申込方法 履歴書(市販のもの)に自筆・写真貼付)を学校給食課へ提出してください。面接の試験案内は、申し込み後に学校給食課から連絡します。

申込期間 随時受付

問い合わせは 学校給食課(☎22-0362)へ

稲刈り後の田の耕起について ～農家の皆さまへ～

稲刈り後の稲わらを田んぼに放置しておくと、大雨や台風時の雨水と共に水路に流れ込み、水路が詰まったり、漁港や漁場においては漁網に稲わらが詰まる被害などが発生しています。災害防止のため、稲刈り後は速やかにトラクタで耕耘していただけるようご協力をお願いします。

問い合わせは 農地整備課(☎22-1599)へ

市長通信

お元気ですか



阿南市長
岩浅嘉仁

「人生被害」と呼ばれる 人権侵害の解決へ

「外国にも何度も行き、日本中にも行きました。それでもただ1力所だけ行けないところがあります。ふるさとです」

ハンセン病の入所者や社会復帰者の人権回復運動に尽力されている、多磨全生園(国立ハンセン病療養所)の自治会長・平沢保治氏(92歳)の言葉です。

去る7月9日、安倍首相は元患者にとどまらず、その家族が受けた差別についても、個人の尊厳にかかわる人生被害が生じたと認定し、元患者家族の高齢化が進む中、早期救済を図る立場に立ち、ハンセン病問題の全面的な解決を図ることを表明しました。

ハンセン病は、日本では医学的根拠のないまま隔離が始まり、昭和6(1931)年の旧「らい予防法」で強制隔離が法制化されました。ハンセン病は、伝染力が極めて弱く、患者と接触しても感染の心配はほとんどないにもかかわらず、隔離政策を続けたことで「恐ろしい伝染病」という偏見を社会に植え付けてきました。そして、患者の家族は、差別や偏見や恐怖にさらされ、重く永い沈黙を強いられ、教育の機会を奪われ、結婚でも差

別されるなど、筆舌に尽くしがたい苦労を重ねてこられました。

私たちの阿南市は、2005年に「人権尊重のまちづくり条例」を制定しました。また、師の川端康成氏に、「彼が存命していたならば、私より先にノーベル文学賞を受賞したであろう」と言われ、ハンセン病と闘いながら創作活動を続け、23歳で早世した作家・北條民雄氏を生みだしました。さらに、16歳で発病し、香川県大島青松園に入所中、キリスト教に入信し、後に沖縄名護市に現在の国立療養所沖縄愛楽園を築いた、青木恵哉氏も輩出しています。

かつて、歴史の闇に葬られていた二人の偉人を持ったことは、阿南市民の誇りと思っております。

「私たち一人一人は微力ですが、無力ではありません」

ある元患者の言葉ですが、阿南市は、人権尊重の先進都市として、あらゆる差別解消に立ち向かう、優しさを備えた強い行政を一層推進しなければならないと思います。



ハンセン病人権啓発大使である日本財団会長・笹川陽平氏(80歳)と全国ハンセン病療養所入所者協議会会長・森和男氏(79歳)と共に



グローバル・アピール2015 サイドイベント「文芸でみるハンセン病」にて